

第13回 JR 貨物連合定期大会開催



J R 連合政所局長



南関東ロジ労組山田委員長

9月14日、第13回JR貨物連合定期大会が都内で開催し、2022年末手当交渉、2023春闘を含め、今後の活動方針を満場一致で可決しました。

大会を代表して挨拶に立った辻村事務局次長（貨物鉄産労）は、「東京タ構内で死亡労災が起きた。自分の身近で重大な労災が起きていることを認識して頂きたい。組織拡大が続いており改めて感謝申し上げる。今後も鋭意な取り組みをお願いする。青函共用走行問題・鉄道強靱化・アボルール改定と大きな政策課題があるが、JR連合と共に取り組んでいく。2022年末手当交渉、2023春闘では厳しい闘いとなるが組合員の先頭になって取り組んでいく」と述べ、来賓のJR連合政所局長からは、政策課題・組織課題を主に「JR貨物における政策課題は、青函共用走行問題・アボイダルルコスト改定等、多岐にわたるが貨物連合と共に取り組んでいく。2023春闘ではJR7単組と全てのグループ労組が一致団結して取り組んでいく」と発せられました。質疑では、政策課題の質問が多くあり、執行部・JR連合より、現時点での考えを説明して頂きました。

定期大会終了後、第9回安全デスカッションを行い、各単組から安全問題を抽出し、重大事故・重大労災が起きてから改善するのではなく、危険作業・危険箇所を早期に改善することをJR貨物会社に対し強く訴えていくこととしました。



団結頑張ろう

交通共済 

みんなで暮らしをガード 

 交通共済 (JR職域生協)
全国交通運輸産業労働者共済生活協同組合

気になる費用。
気にせず治療。



しっかりと医療を保障する

生命共済/入院共済/総合医療共済

契約先：東京海上火災保険株式会社